

実践ライブラリー:高等部 国数「買い物へ行こう」

外で歩くのが好き
座って勉強よりも動く方が楽しい

様々な経験をする中で、日常生活に関係する言葉や、ルール、お金の扱いなどを学んで、慣れていってほしい。食に関する興味をもってほしい。

① お店へ行こう

お菓子を買うためにお店まで歩きます。お店まで行く道中には、お気に入りの場所や、信号、季節の花など、様々なものがあるため、実際に指差しをしたり、信号の色を確認しながら横断歩道を渡るなどして、様々な言葉に触れることができました。



おすすめポイント

実際に体験することで、生徒が興味や関心をもって見たり聞いたりできます。

子どもの反応

「綿毛があるよ。
吹いてみよう」
「せーの、ふーっ！」

② お菓子を選んで買おう

最初は事前に買うお菓子を決めてからお店に入り、手に持っているお菓子のカードと本物のお菓子をマッチングしてもらいました。レジに並ぶときにも、「順番」と声をかけて、静かに順番が待てるように何度も繰り返しました。

お金の計算は難しいため、商品とお金を渡し、お釣りと商品を受け取るやり取りを経験しました。

活動に慣れてきたら、その場で自分の好きな商品を選んで買うこともありました。



子どもの反応

「どこにあるかなあ」

③ 買ったものを食べよう

お店から帰ってきたら、手を洗って、買って来たものをお皿に出して食べました。食にあまり関心がなく、なかなか食べられるものが広がらない生徒たちでしたが、週一回年間を通して活動をしていく中で、少しだけしか食べなかったものが食べられるようになりました。食べた後は、食器を洗って、片付けをしました。国数的な教科の内容を意識して、やり取りを通して様々な言葉かけをしました。食を通して活動する中で、様々なやり取りが生まれたことも良かったです。

おすすめポイント

20円程度の買い物のため、年間でも1000円で十分、学習を進めることができます！

